

# Rainbow Times

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げ、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、被災された地域の方々のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 児童虐待相談対応件数 ~ H22 年度は 55,152 件 (速報値)

7月20日、厚生労働省により、平成22年度に全国の児童相談所に対応した児童虐待相談対応件数(速報値)が発表されました。今回は、震災の影響で宮城県、福島県、仙台市を除いて集計されました。その数は、55,152件。昨年度より12,090件(1.28倍)増と、これまでと比べて大幅な増加でした。昨年は大阪での事件もあり、世間が児童虐待に注目したことが激増の背景にあると指摘されています。

同日、子ども虐待による死亡事例等の検証報告(第7次報告)も発表されました。H21年4月1日~H22年3月31日までに児童虐待により死亡した子どもは、77例88人でした。第6次報告の107例128名よりは減ったものの、この数字は、1週間で約1.8人の尊い子どもの命が亡くなっていることとなります。ニュースを聞くたびに心がしめつけられる人が多いのではないのでしょうか。虐待の早期発見・早期対応、そして予防に力をいれていかななくてはならないことを再認識します。

これらの発表をみなさんはどのように受け止めますか？

詳しくは・・・厚労省HP

報道発表資料 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200001jqi1.html>

子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第7次報告) [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv37/index\\_7.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv37/index_7.html) (南山)

[海外虐待事件簿 ・アメリカ]



### 8/9 判決 : 5歳女児餓死、25歳の継母に懲役50年

2010年3月、アメリカインディアナ州で、意識不明の5歳女児が病院に運ばれた後、意識を取り戻すことなく6日後に亡くなった事件がありました。病院に運ばれた時の体重は28ポンド(12.7kg)と痩せており、死因は栄養失調による脳損傷と罰として大量に摂取させられた塩でした。5歳女児は、頬に食べ物を入れておく、汚物で遊ぶ、幻覚、おむつが取れない、護身用にナイフを持つ、などの行動があったと両親は話しているそうです。

女児の両親は2007年に離婚していました。2009年8月、親権が父親に渡ると、女児は父、継母(現在は離婚)、継母の両親と暮らすことになりました。死亡するまでの7ヶ月の間に女児は何度か病院で診察を受けており、指の骨折、栄養失調、頭部損傷、性器の変形などの診察記録がありました。病院から児童福祉サービスへは一度だけ、性的虐待の疑いで通報ありましたが、継母はこれに対し、自分は関係ないと言い逃れていました。

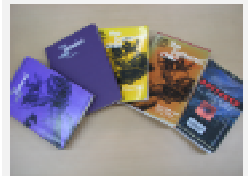
女児は、実母と暮らしていた頃は健康で特に問題行動も報告されていなかったようです。9歳の姉によると、女児はお仕置きとして、重い物を持たされたり、足の裏を木の棒でたたかれたり、腕立て伏せをさせられたりしていたようです。また、継母は幼少期に性的虐待を受けていたそうです。

継母は、裁判の判決で「50年の刑」が言い渡されました。

(山邊)

### 新しい本が入りました！

『児童虐待』を1962年に初めて医学的に認識したHenry Kempと児童虐待防止の先駆者であるRay Helferによる“The Battered Child”の第1版(1968)と第2版(1974)が図書室に入荷され、最新の第5版(1997 Mary Helfer, Ruth Kemp & Richard Krugman)まで揃いました。



### 寄贈図書



大阪の児童虐待防止協会より

『Child Abuse and Neglect  
The International Journal』

『Child Abuse Review』

『Aggression and Violent behavior』

バックナンバー計130冊を寄贈いただきました。

『Child Abuse Review』はなんと創刊号から!

滋賀県の児童相談所より、

『児童福祉マニュアル(昭和26年)』他、  
図書を寄贈いただきました。写真からもお分かりのように、大変古く、貴重な本です。



こういったなかなか手に入らない図書以外でも、各施設、機関、団体で出版されている冊子などの情報、特にバックナンバーは処分されてしまっていることも多く、収集が難しいのが現状です。センターでは、全てを貴重な情報として大切に保管し、閲覧可能にしています。

寄贈して頂ける本がありましたらご連絡下さい。